

医療機器開発コミュニティ 「HealthTechHub中四国」の活動について

大原記念倉敷中央医療機構 臨床医学研究所 徳増 裕宣

1) 医療機器開発コミュニティ「HealthTechHub中四国」の立ち上げ

2) 医療機関でのユーザビリティ評価支援

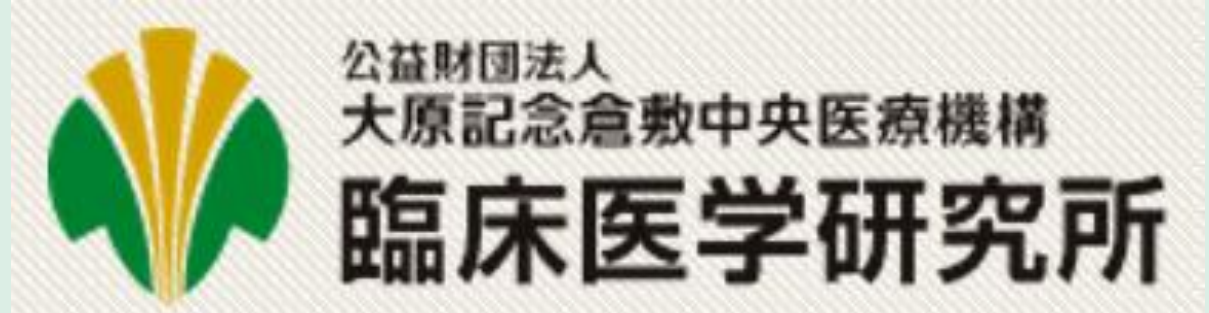
3) 医療系限定のピッチイベント開催

4) ISO13485支援、海外医療機器展示会への出展支援



Health Tech Hub 中四国

当研究所は、2022年度からAMED（日本医療研究開発機構）の医工連携イノベーション推進事業に採択されました。



倉敷中央病院が行う治験支援、適切な臨床研究の基盤整備にとどまらず、医療機器開発ならびに医療分野に取り組む企業からの事業化相談、製薬企業とのフィージビリティスタディ支援など幅広く対応しています。

TOPIC 01 医療機器開発コミュニティ「HealthTechHub中四国」の立ち上げ

「地域のイノベーターをつなぐプラットフォーム」

革新的な医療機器開発には、難題に取り組むプレイヤーと多くつながり、また**次世代のチャレンジャーを育む環境**を作り出さなければなりません。

我々は全国のイノベーターと中国・四国地域の事業者、起業家、研究者が協業できる場として、コミュニティ「HealthTechHub中四国」創設しました。

医療者だけでなく、弁理士、弁護士、医療卸業代表、VCなど**様々なスペシャリストに参画**いただき、事業計画策定、特許戦略、販売戦略まで幅広い支援を行っています。

①**対談型イベント「TOPPA」**、

②**ハッカソン**（今年度のテーマは「医療的ケア児」）

を主宰し、若手起業家育成や地域企業に対して医療分野でのビジネスが創出しやすい環境づくりにも取り組んでいます。

①対談型イベント「TOPPA」



②ハッカソンイベント



OKAYAMA UNIVERSITY

TOPIC 02 医療機関でのユーザビリティ評価支援

「臨床現場の「生の声」をお届けします」

同一法人の倉敷中央病院に所属する医療従事者に対して、ユーザビリティ評価の場を調整します。業務の合間に来ていただくことで通常よりもしっかりと製品に触れてもらうことができ、濃密なフィードバックをもらえる機会を提供します。



TOPIC 03 医療系限定のピッチイベント開催(2025年度は2月開催予定)

「最大100万円！事業化を経済的にも支援！」

ヘルスケア分野での事業化を支援するピッチイベント「Health Tech Innovation Challenge」を実施しています。

2023年度



2024年度



TOPIC 04 SaMD/ISO13485支援、海外医療機器展示会への出展支援

「最大100万円！事業化を経済的にも支援！」



OKAYAMA UNIVERSITY